

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年11月13日

計画の名称	矢巾町における防災・安全に関する下水道事業（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	矢巾町
計画の目標			

下水道整備を積極的に行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な公共用水域を確保するとともに生活環境の整備を実現する。

計画の成果目標（定量的指標）	②下水道による浸水対策達成率を71.9% (H22) から75% (H26) に増加させる。 ③耐用年数を経過した人孔鉄蓋の更新率を13% (H22) を48% (H26) に増加させる。 ④管渠の長寿命化計画の策定率を0% (H22) から46% (H26) に増加させる。 ⑤重要な管渠の地震対策実施率を0% (H22) から19% (H26) に増加させる。		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
② 下水道による浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)	71.9%	73.7%	75.0%	
③ 人孔鉄蓋の更新率 耐用年数を経過した人孔鉄蓋の更新枚数 (枚) / 耐用年数を経過した人孔鉄蓋の枚数 (枚)	13%	36%	48%	
④ 管渠の長寿命化計画の策定率 長寿命化計画を策定する延長 (m) / 長寿命化計画を策定すべき管渠延長 (m)	0%	46%	46%	
⑤ 重要な管渠の地震対策実施率 地震対策を実施する延長 (m) / 地震対策計画策定延長 (m)	0%	0%	19%	

上段：計画 下段：実施

全体事業費	合計 (A+B+C)	130百万円 126百万円	A	130百万円 126百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0% 0.0%
-------	---------------	------------------	---	------------------	---	--------------	---	--------------	---------------------------	--------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
担当部署において事後評価を実施	平成27年10月
	公表の方法
	矢巾町ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業										上段：計画	下段：実施						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
都南処理区																	
21-A-6	下水道	一般	矢巾町	直接	-	雨水	新設	岩崎川右岸排水区枝線（浸水対策）	L=1.2km L=0.2m	矢巾町						48	
21-A-7	下水道	一般	矢巾町	直接	-	汚水	更新	人孔鉄蓋の更新	180箇所 72箇所	矢巾町						35	
21-A-8	下水道	一般	矢巾町	直接	-	汚水	改築	長寿命化計画策定	L=0.5km L=0km	矢巾町						12	
21-A-9	下水道	一般	矢巾町	直接	-	汚水	改築	矢巾幹線改築	L=0.5km L=0km	矢巾町						18	
21-A-10	下水道	一般	矢巾町	直接	-	雨水	新設	矢巾2号幹線新設（浸水対策）	L=0.5km L=0.1km	矢巾町						25	
																0	
																10	
																1	
															合計	130	
																126	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

その他関連する事業													
計画等の名称 ○○市における循環のみちの実現													
事業種別	交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)	市町村名	全体事業費 (百万円)	備考	上段:計画					下段:実施		
						H22	H23	H24	H25	H26			
A'-1-1	下水道	矢巾町	駅西・駅前地区準幹線(未普及解消)	矢巾町	185	208							防安移行元
A'-1-2	下水道	矢巾町	煙山・南煙山地区準幹線(未普及解消)	矢巾町	575	448							防安移行元
A'-1-3	下水道	矢巾町	下北地区準幹線(未普及解消)	矢巾町	512	286							防安移行元
A'-1-4	下水道	矢巾町	上赤林地区準幹線(未普及解消)	矢巾町	246	290							防安移行元
A'-1-5	下水道	矢巾町	高田西地区準幹線(未普及解消)	矢巾町	62	41							防安移行元
A'-1-10	下水道	矢巾町	徳田西地区準幹線(未普及解消)	矢巾町	50	0							防安移行元
C'-1-1	下水道	矢巾町	駅西・駅前地区枝線(未普及解消)	矢巾町	76	27							防安移行元
C'-1-2	下水道	矢巾町	煙山・南煙山地区枝線(未普及解消)	矢巾町	138	116							防安移行元
C'-1-3	下水道	矢巾町	下北地区枝線(未普及解消)	矢巾町	118	15							防安移行元
C'-1-4	下水道	矢巾町	上赤林地区枝線(未普及解消)	矢巾町	52	37							防安移行元
C'-1-5	下水道	矢巾町	高田西地区枝線(未普及解消)	矢巾町	16	1							防安移行元
全体事業費		合計 (A'+B'+C')	2,030百万円 1,469百万円	A'	1,630百万円 1,273百万円	B'	0百万円 0百万円	C'	400百万円 196百万円	(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))			18.6% 12.3%

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 雨水排水路の整備を進めることにより、浸水被害の軽減を図ることが出来た。 耐用年数を経過した人孔鉄蓋の更新により、マンホール施設の安全度が向上した。 長寿命化計画の策定のため、管渠内のカメラ調査を実施したことにより、 			
II 定量的指標の達成状況	指標②（下水道による浸水対策達成率）	最終目標値	75%	目標値と実績値に差が出た要因	整備地区の精査により面積を減少し施工したため
			152.2ha / 203ha		
	最終実績値	73%			
		147.2ha / 203ha			
	指標③（人孔鉄蓋の更新率）	最終目標値	48%	目標値と実績値に差が出た要因	長寿命化計画に併せて計画を行っているため
			124枚 / 259枚		
	最終実績値	30%			
		77枚 / 259枚			
	指標④（管渠の長寿命化計画の策定率）	最終目標値	46%	目標値と実績値に差が出た要因	基本構想にて管路調査を行う必要が出てきたため
			230m / 500m		
	最終実績値	0%			
		0m / 500m			
指標⑤（重要な管渠の地震対策実施率）	最終目標値	19%	目標値と実績値に差が出た要因	長寿命化計画策定を待って一体的に実施するため	
		95m / 500m			
最終実績値	0%				
	0m / 500m				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> 引続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 					

(参考様式3) (参考図面) 社会資本総合整備事業 (防災・安全交付金)

